

## 療育と障害児保育にテクノロジー・コラボレーション。療育用ロボットアプリを Softbank World2019 で展示・発表

発達障害児への療育支援を目的にロボットアプリ開発、ICT 教育教材開発を行う株式会社 Ecold (所在地：大阪府箕面市、代表取締役社長 北村耕太郎) が開発した、療育・保育用ロボットアプリ「SMART動物 WALK」について 2019 年 7 月 18 日、19 日に東京都で開催された Softbank World2019 で展示、発表をしました。

本アプリはソフトバンクロボティクスの小型ロボット「Pepper」向けに自社が独自開発したアプリです。

※弊社北村が Softbank World2019 でプレゼンする様子



### 【療育用ロボットアプリシリーズの概要】

弊社は 2019 年 4 月 1 日に創業した発達障害児等への療育支援を目的にロボットアプリ開発、ICT 教育教材開発、療育施設の運営等を行うスタートアップ企業です。企業ビジョンである「二次障害にさせない社会つくり」を目指し、療育業界はもちろん、発達障害等をもつ子どもたちが過ごす保育、幼児教育、学校などの教育機関の課題を AI、ICT、ロボティクスの領域から解決を目指しています。その中で弊社は 2019 年 4 月に開発したロボットアプリ「スマート発達診断」、2019 年 7 月に開発したロボットアプリ「SMART 動物 WALK」など開発ベンダーと協力しながらアプリ群を形成しているところです。今後は 2019 年秋ごろ目途に提供方法や提供価格を決定していく、発達障害の子どもたちが通う療育施設、保育園、幼稚園、学校などあらゆる機関で使用してもらえるような環境整備を目指していきます。

■対象のサービス：

「Pepper for Biz 3.0」

【SMART 動物 WALK の概要】

療育用ロボットアプリシリーズ第2弾である「SMART 動物 WALK」は、ソフトバンクロボティクスの大型ロボット Pepper に搭載するためにロボットアプリ開発ベンダーの株式会社ロゴスと開発してきました。サービス概要として弊社開発ディレクターである中山のぞみが指揮をとり、理学療法士の協力のもと、乳幼児の運動機能を向上させるための様々な筋肉、体幹などに効果的かつ子どもたちが楽しみながら行える訓練プログラムを動物に例え、また理学療法などの専門的な知識を多く持たない保育士や幼稚園教諭でもどの動物の動きが何の効果をもたらせるのか、さらに効果を向上させるための動きの注意事項を Pepper がプログラムの中で言葉や動きで説明する機能を加えることで知識不足を補い、子どもたちに効果的な運動プログラムを提供できる工夫をしています。

【モデル園について】

現在、弊社で運営をする大阪府吹田市に所在する障害児保育園エコルド吹田で「SMART 動物 WALK」を実装している Pepper を置き、実際に療育プログラムを提供しています。事前に予約を頂ければ見学等もして頂けますので下記お問い合わせ先までご連絡をください。今後は弊社として「二次障害にさせない社会つくり」を目指して、早急に提供価格等を設定して一般に販売できる体制を構築していき、さらに開発も進めていくことで療育業界や保育、幼稚園、学校などに通う障害のある子どもたちの成長に寄与できるよう全力を尽くしていきます。

【お問い合わせ先】

会社名：株式会社 Ecold

代表者：代表取締役社長 北村耕太郎

開発ディレクター：中山のぞみ

所在地：大阪府箕面市西小路 2-7-22 MKM 友ビル 2F 202 号

TEL・FAX：072-200-2907

U R L：<https://www.d-forum.org/>

E-Mail：[info@ecold.jp](mailto:info@ecold.jp)

事業内容：児童発達支援・放課後等デイサービス運営・FC 事業

療育用ロボットアプリ開発・販売

療育用 ICT 教材開発・販売 など